

埼玉県大学・短期大学図書館協議会研修会 2010  
アンケート結果報告書

平成 22 年 11 月 8 日

埼玉県大学・短期大学図書館協議会

# 埼玉県大学・短期大学図書館協議会研修会 2010

## アンケート調査の概要

### 1. 実施テーマ、内容

テーマ「相互貸借・紀要電子化とリポジトリの関係」

【内容】～相互協力・文献複写について～

～紀要の電子化について～

### 2. 実施期間

2010年8月11日～2010年9月10日

### 3. 実施方法

SALA メーリングリストを使用。

メールにアンケートファイルを添付し、各加盟機関宛へアンケートを送信。

### 4. 調査対象

SALA 加盟機関（46 機関）

### 5. 回収状況

加盟機関数	46	46
回答機関数	40	41
回答率	86.9%	89.1%

1 大学の回答を追加  
(2010/11/12)

### 6. 集計結果

(1) 項目別集計結果 ..... P1 - P9

(2) 機関別集計 ..... P10-P29

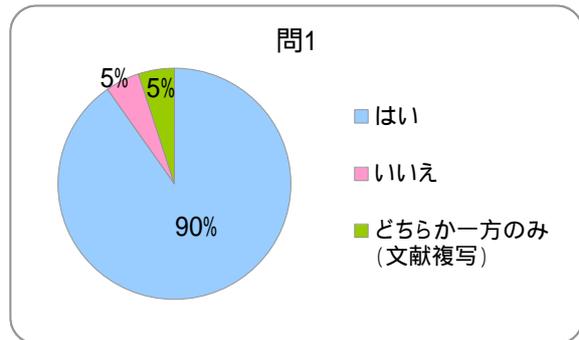
(3) アンケート内容 ..... P30-P32

1 大学の回答を追加したため、(1)(2)については配布時の内容を更新しております。(2010/11/12)

【相互協力・文献複写について】問1～問8

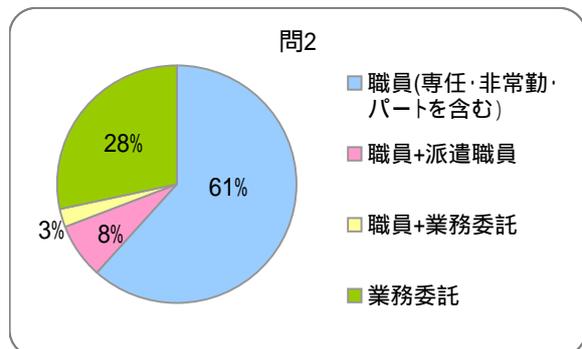
問1 相互協力(資料貸借・文献複写)を実施していますか？

はい	37
いいえ	2
どちらか一方のみ(文献複写)	2
計	41



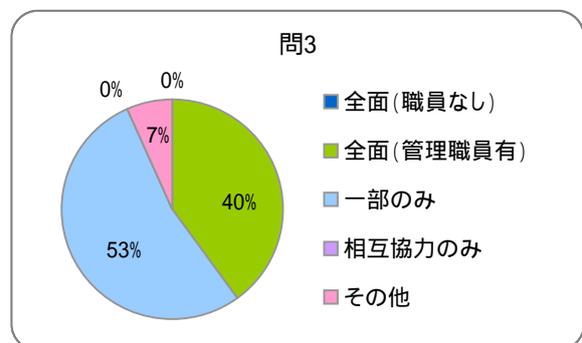
問2 問1で「はい」または「どちらか一方のみ」と答えた方のみ回答してください。  
相互協力(資料貸借・文献複写)の業務担当についてお聞かせ下さい。

職員(専任・非常勤・パートを含む)	24
職員+派遣職員	3
職員+業務委託	1
業務委託	11
計	39



問3 問2で「業務委託」または「派遣職員」と答えた方のみ回答してください。  
図書館業務の「業務委託」または「派遣職員」状況をお聞かせ下さい。

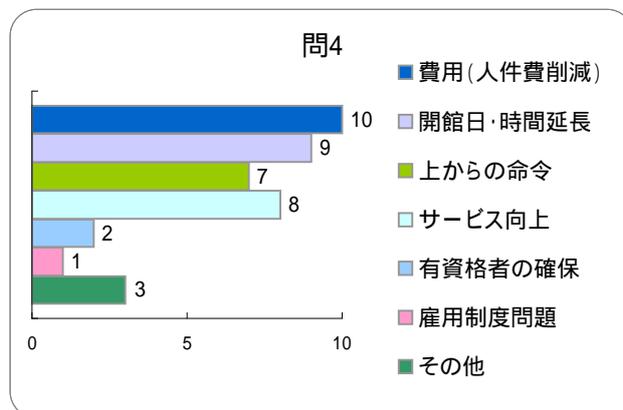
全面(職員なし)	0
全面(管理職員有)	6
一部のみ	8
相互協力のみ	0
その他	1



問4 問2で「業務委託」または「派遣職員」と答えた方のみ回答してください。  
業務委託または派遣職員による実施を選択された理由は何ですか？（複数回答可）

費用(人件費削減)	10
開館日・時間延長	9
上からの命令	7
サービス向上	8
有資格者の確保	2
雇用制度問題	1
その他	3

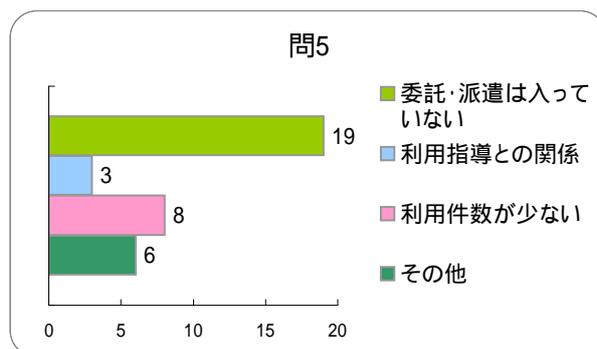
その他〔内訳〕	
大学の方針	1
補助金獲得(当時)	1
委託化は政策判断による	1



問5 問2で「職員」または「その他」と回答された方にお聞きします。  
「職員」または「その他」を選択された理由は何ですか？（複数回答可）

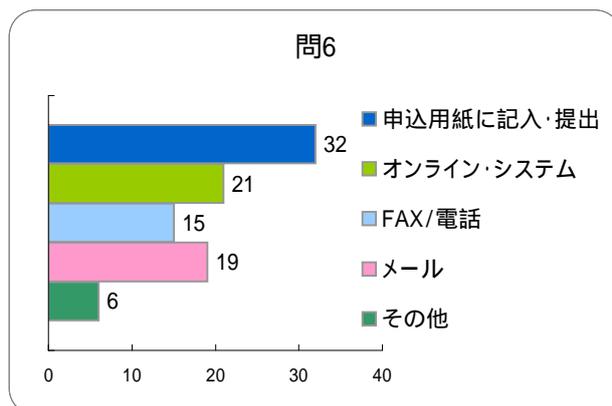
委託・派遣は入っていない	19
利用指導との関係	3
利用件数が少ない	8
その他	6

その他〔内訳〕	
業務管理上、業務分担上	2
派遣職員はいるが、他の業務を担当しているため。	1
職員のみが担当している	1
委託範囲は目録データ作成のみ	1
季節的な業務量の増減に対応可。ある程度の習熟が必要であり単純作業ではない	1



問6 相互協力の申込方法を教えてください。(複数回答可)

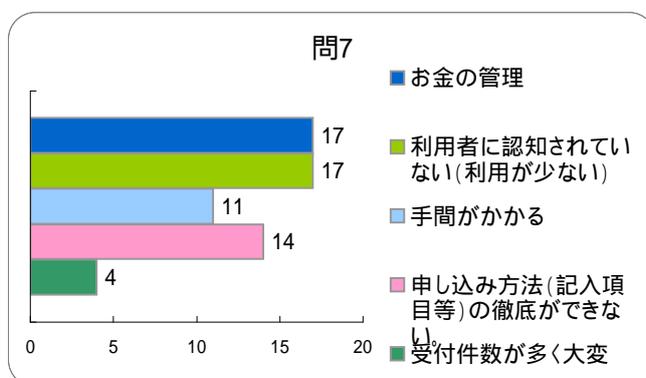
申込用紙に記入・提出	32
オンライン・システム	21
FAX/電話	15
メール	19
その他	6



その他〔内訳〕	
FAXのみ(電話不可)	3
図書館HP内に設置した文献複写・相互貸借 申込専用フォーム	1
窓口で直接	1
電話、メール等の問い合わせからオンライン 申し込みへ誘導、または申込用紙から代理 入力。基本はオンライン	1

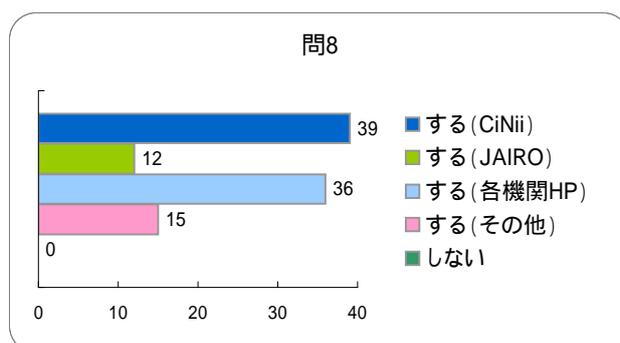
問7 相互協力を実施していく際に感じている問題点・課題を教えてください。(複数回答可)

お金の管理	17
利用者に認知されていない(利用が少ない)	17
手間がかかる	11
申し込み方法(記入項目等)の徹底ができない。	14
受付件数が多く大変	4



問8 文献複写を依頼する際、該当文献がWebで公開済みかどうかを確認されますか?(複数回答可)

する(CiNii)	39
する(JAIRO)	12
する(各機関HP)	36
する(その他)	15
しない	0



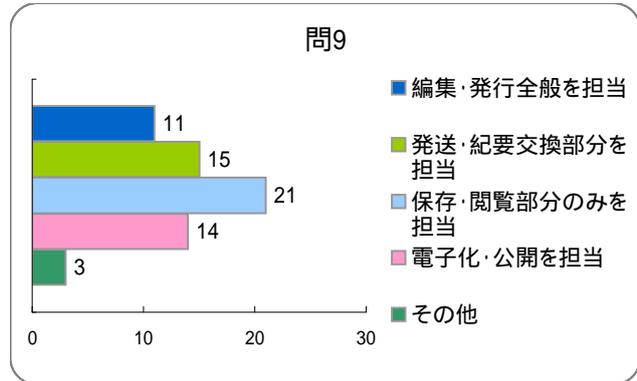
【紀要の電子化について】問9～問18

問9 機関で発行する紀要に対して図書館はどのように関わっていますか？

(紀要が複数発行され、関係の仕方がまちまちである場合は、もっとも関係が深いケースについてご回答ください)

編集・発行全般を担当	11
発送・紀要交換部分を担当	15
保存・閲覧部分のみを担当	21
電子化・公開を担当	14
その他	3

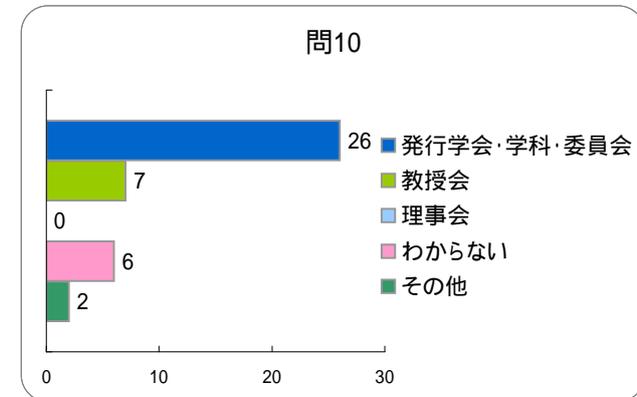
その他〔内訳〕	
2007刊行まで発送も担当	1
研究報告を担当	1
かかわっていない	1



問10 学内で紀要の電子化をする際の決定（承認）部署・ 機関はどちらですか？

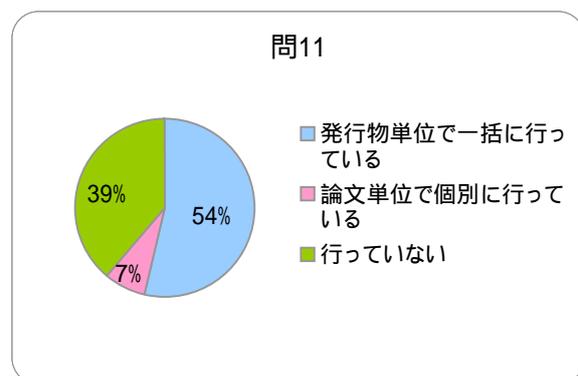
発行学会・学科・委員会	26
教授会	7
理事会	0
わからない	6
その他	2

その他〔内訳〕	
発行学会・学会・委員会・大学執行部会議	1
発行物ごとに異なる	1



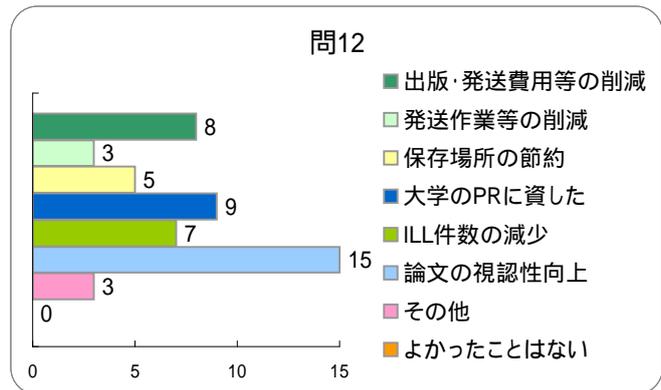
問11 学内で発行されている紀要等の電子化を行っていますか？

発行物単位で一括に行っている	22
論文単位で個別に行っている	3
行っていない	16
計	41



問12 問11で電子化を「行っている」と回答された方にお聞きします。  
実際に電子化を試みた結果、よかったことはありますか？（複数回答可）

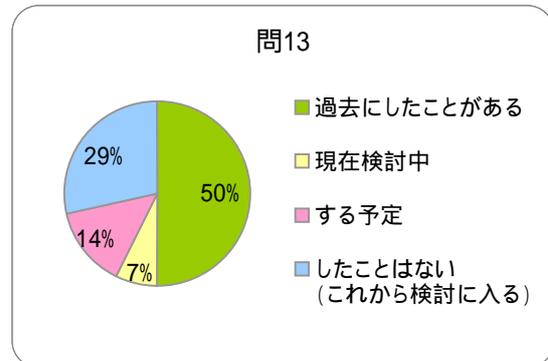
出版・発送費用等の削減	8
発送作業等の削減	3
保存場所の節約	5
大学のPRに資した	9
ILL件数の減少	7
論文の視認性向上	15
その他	3
よかったことはない	0



その他〔内訳〕	
著作権について少し認知度が深まったかもしれない	1
各発行機関ごとに実施しているため不明	1
まだわからない	1

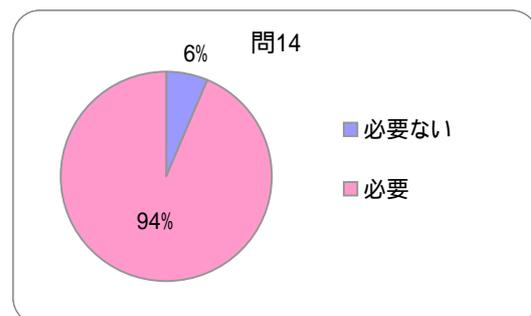
問13 問11で電子化を「行っていない」と回答された方にお聞きします。  
電子化の検討状況について、以下のどれに該当しますか？

過去にしたことがある	7
現在検討中	1
する予定	2
したことはない (これから検討に入る)	4



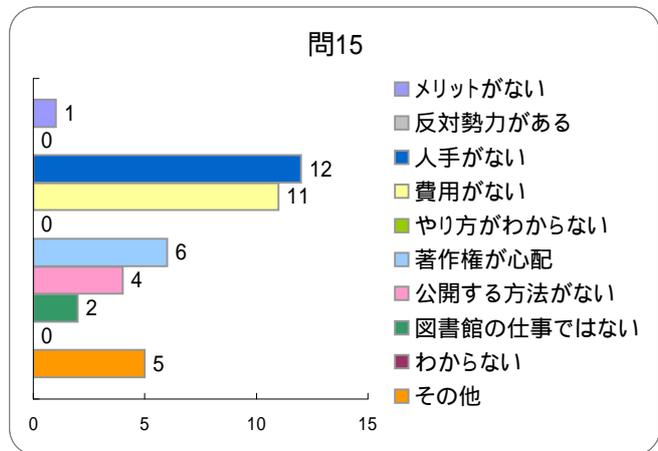
問14 問11で電子化を「行っていない」と回答された方にお聞きします。  
電子化をする必要性についてどう思いますか？

必要ない	1
必要	15



問15 問11で電子化を「行っていない」と回答された方にお聞きします。  
電子化を行っていない理由はなんですか？（複数回答可）

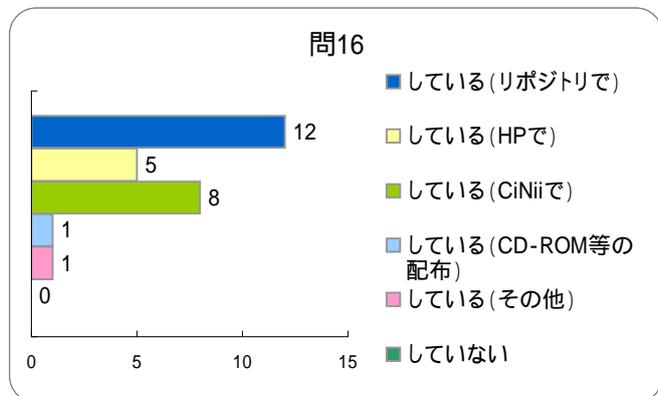
メリットがない	1
反対勢力がある	0
人手がない	12
費用がない	11
やり方がわからない	0
著作権が心配	6
公開する方法がない	4
図書館の仕事ではない	2
わからない	0
その他	5



その他〔内訳〕	
教員には説明しているがなかなか進まない	1
過去に発行された紀要の著作権処理が出来ない。発行部署の認識がない。	1
紀要の発行に関しては教養教員が行っているため	1
紀要の発行に関しては各学部の事項であるため	1
著作権の問題が解決されていない	1

問16 問11で電子化を「行っている」と回答された方にお聞きします。  
電子化されたファイルを学外公開していますか？

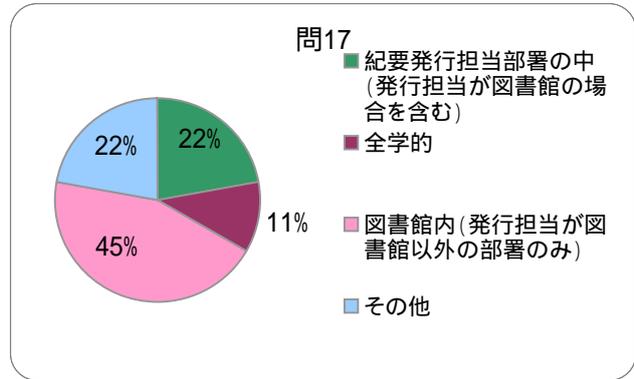
している(リポジトリで)	12
している(HPで)	5
している(CiNiiで)	8
している(CD-ROM等の配布)	1
している(その他)	1
していない	0



その他〔内訳〕	
JDream2	1

問17 問12で「したことはない」以外を回答された方にお聞きます。  
どのレベルでの検討されました（されています）か？  
この設問の「問12」は「問13」の誤りでした。お詫びして訂正致します。

紀要発行担当部署の中(発行担当が図書館の場合を含む)	2
全学的	1
図書館内(発行担当が図書館以外の部署のみ)	4
その他	2



その他[内訳]	
紀要をメディカルオンラインや他(国立)関係にのせる場合、どういう手続きが必要か調べる様事務局担当者から依頼が過去にありましたが、その後、進展はありません。	1
この問いは意味がわかりません	1

問18 紀要の電子化を「行っている」または具体的に「行うこと」が決まっている機関の方にお聞きます。特に意識した点や大変だったこと、やってよかったと思ったことなどのエピソードや、これからの課題などがありましたらお聞かせ下さい。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・NIIのCiNiiの開始をきっかけに行なうようになった。このため、著作権のうち複製権及び公衆送信権の行使を大学に委託することが、各誌に関する規程に明文化された。</li> <li>・公衆送信権の行使を大学に委託することが、各誌に関する規程に明文化された。</li> <li>・過去に発行された紀要を電子化するために、退職された方々にも著作権を上記のようにすることの許諾を得るための作業が大変だった。</li> <li>・現在では、発行時に印刷版とPDF版が同時に図書館に納品されるようになった。</li> <li>・今後、過去に発行された学科報を電子化していく予定であるので、著作権の許諾を得るための作業が生じる。(跡見学園女子大学新座図書館)</li> </ul>
当事者でないのでわからない。(埼玉医科大学附属図書館)
<p>非常勤講師や退職教員がいたため、創刊号から遡って許諾をとることが少々大変だった。非常勤講師の場合、所在確認が難しい場合があった。短大紀要については、現在も国情研の電子化支援事業による電子化しかしておらず、予算も含め、今後どうするかが課題である。</p> <p>また、本学では現在冊子体での発行がメインであり、電子化はHPへの掲載を目的に行っているにとどまっているが、今後、冊子体の発行を継続していくのかについても、検討しなくてはならない時期にきているのではないかと考えている。(埼玉学園大学・川口短期大学情報メディアセンター)</p>
<p>やってよかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報検索の効率が格段にアップした (埼玉県立大学情報センター)</li> </ul>
<p>教員のFaculty Developmentの成果の一環として公開でき、大学広報に活用できるメリットがある。ただし、管理面での経費が発生するようであれば、中止も含めて再検討の可能性はある。(埼玉純真短期大学図書館)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・問い12で答えたことの繰り返しになりますが、発行、発送費用の軽減になりました。</li> <li>・第三者評価では、図書館の取り組みに掲載することができました。</li> <li>・執筆者の意識も変化したように思います。</li> <li>・公開に当たっては、SALAや埼玉大学さんの支援が欠かせないものでした。今後は紀要やそのほかの成果物を継続的に公開していくことが課題です。(埼玉女子短期大学図書館)</li> </ul>

<p>業務分担をしており、図書館では保存・閲覧・発送を行っている（芝浦工業大学大宮図書館）</p>
<p>著作権がどこに帰属するかを大学内で検討するように各編集委員会にお願いした。著作権者が誰であるかを投稿規定の中に盛り込み、奥付等に明示することを勧めた。ほとんどが著作権は大学に帰属することが決められた。物流の面では、編集委員会に印刷物納品と同時に印刷会社からPDF納品するように提案した。費用は各編集委員会の予算で賄い、図書館は公開と保存用に印刷版とPDFを納品してもらうこととした。印刷版が不要と考えた部署は最初から電子のみ作成するところも出てきた。（城西大学水田記念図書館）</p>
<p>図書館では以前から発送と交換は担当してきたが、投稿規定には、直接は立ち入ることの出来ない立場にある。また、電子化についても、全学的に統一した取り扱いとすることは実現できておらず、図書館から各発行学会等に対して個別に、電子化促進や電子ファイル公開に対応した投稿規定への改正を呼びかける形となっている。このため、図書館としては電子化促進の立場を打ち出している（委員会として正式決定している）ものの、投稿規定の改正や実際の公開には非常に時間がかかってしまった。また、著作権を大学に帰属させるには至っておらず今後の課題である（現状では反対意見が根強い）。（駿河台大学メディアセンター）</p>
<p>2003年より電子化を開始しました。2007年度まで図書館HP上で公開していましたが、その後リポジトリを構築しました。電子化を始めた当初はまだ実施している機関が少なく、電子化に向けた投稿内規や電子化についての文書の作成は大変でしたが、千葉大学などの先行事例を参照しながら進めました。学内の理解を得る段階では、CD-ROMによる公開という段階を経てWeb公開にいたりました。現在では「論叢＝電子化・公開」という認識が先生方のなかに根付いてきているので、トラブルなく公開ができています。リポジトリ構築に先行して電子化を進めていたおかげで、リポジトリの構築への理解も得やすく、心理的なハードルも低かったのではないかと思います。実際の構築ではこれらのデータを核として進めることができました。今後、研究所の紀要や学内の冊子類の電子化も進めていく予定です。（聖学院大学総合図書館）</p>
<p>平成23年度からの機関リポジトリ導入に向けて検討の準備に入った。導入の必要性を訴えた図書館では、検討に先がけ次の解決すべき懸案事項の洗い出しを行った。主たる利用者である教員の協力をどのように得ていくか。本学独自で構築した「東洋大学研究者情報データベース」との連携をどうするのか。どこが主体的に、検討・導入・運営するのか。その結果、全学的な検討の場が必要との結論から、教員と関係事務局の長で構成される検討委員会の立ち上げを計画、関係事務局のタスクグループで作成した委員会規程を各学部に審議依頼し、先般全学部に承認されたところである。今後は、検討委員会と関係事務局タスクグループとの連携によって、具体的な内容の検討に入る予定である。（東洋大学附属図書館川越図書館）</p>
<p>&lt; 今後の課題 &gt;          ・過去発行分紀要の遡及入力          ・学科、研究室、研究所等発行紀要の電子化（現在は学部紀要中心）（文教大学越谷図書館）</p>
<p>冊子も継続して発行しているので、電子化との併用を今後も続けていくのが課題である。（明海大学歯学部メディアセンター[図書館]）</p>
<p>現在はNIIへ紀要原稿CD-ROMを送付し、CiNii上で一般無料公開をしている。予算・著作権の問題等の検討事項はあるが、今後、大学独自のリポジトリを立ち上げる予定である。（目白大学岩槻図書館）</p>
<p>* 電子化してよかった点          ・図書館と各発行元（学部学科、研究所等）との連携が深まった。          * これからの課題          ・リポジトリが未構築。大学全体として、紀要をはじめとした知的財産を管理・公開していく意識が低い。電子公開している紀要も全体の3割に満たない。CiNiiで電子公開する紀要をより増やしていくことが図書館として当面の課題。</p> <p>なお、【紀要の電子化について】問9以降については、調査回答図書館では該当業務を担当していないため、図書館内他課の担当者から回答を得ております。ご了承ください。（立教大学新座図書館）</p>
<p>・電子化については紀要委員会が一括で行っているため、図書館では何に載せるか程度しか聞いてはいない。他大学からの紀要の受け入れは図書館が行っているが、紀要の発送作業・電子化に関しては図書館は一切関知していない。そのため、具体的な方法に関しては知らないことも多く、その辺りの連携は今後の課題となっている。（日本医療科学大学図書館）</p>
<p>公開に当たっての著作権処理。特にバックナンバーの著作権処理に時間がかかるようである。（早稲田大学所沢図書館）</p>

電子化を行なっている紀要についても、現在のところ、冊子体での発行がメインで、冊子で発行したものを電子化しているという状況です。  
これまで紀要の電子化を行なったのが、NIIの「学術雑誌公開支援事業」によるものだったのですが、そちらの事業が平成20年度に終了してしまっただけからは、人員や業務量、機器等の関係で、電子化が滞ってしまっています。  
今後電子化を進めるにあたっては、作業をできるだけ簡素化するためにも、冊子体ではなく、電子版をメインにした紀要作成についても検討する必要があると思っています。

	図書館名	問1	問2	問3	問4							
					費用	開館日	命令	サービス向上	有資格者確保	雇用制度	その他	
1	秋草学園短期大学図書館	はい	職員(専任)									
2	跡見学園女子大学新座図書館	はい	業務委託	その他(新座は、閲覧・レファ全面、整理一部、逐刊一部 茗荷谷は、閲覧・レファのみの業務で全面、但し週一度管理職が出向く)								
3	浦和大学図書館・情報センター	はい	職員派遣職員	一部のみ								
4	共栄大学・共栄学園短期大学図書館	はい	職員(専任)									
5	国際学院埼玉短期大学附属図書館	はい	職員									
6	埼玉医科大学附属図書館	はい	職員									
7	埼玉学園大学・川口短期大学情報メディアセンター	はい	職員									
8	埼玉県立大学情報センター	はい	職員(非常勤)									
9	埼玉工業大学図書館	はい	職員									
10	埼玉純真短期大学図書館	はい	職員									
11	埼玉女子短期大学図書館	はい	職員									

	図書館名	問5				問6				
		委託・派遣なし	利用指導との関係	利用件数が少ない	その他	申込用紙	オンライン	FAX・電話	メール	その他
1	秋草学園短期大学図書館									
2	跡見学園女子大学新座図書館									
3	浦和大学図書館・情報センター									
4	共栄大学・共栄学園短期大学図書館									
5	国際学院埼玉短期大学附属図書館									
6	埼玉医科大学附属図書館									
7	埼玉学園大学・川口短期大学情報メディアセンター									
8	埼玉県立大学情報センター									電話不可
9	埼玉工業大学図書館				派遣職員はいるが、他の業務を担当しているため。					図書館HP内に設置した文献複写・相互貸借申込専用フォーム
10	埼玉純真短期大学図書館									電話不可
11	埼玉女子短期大学図書館									窓口で直接

	図書館名	問7					問8					問9	問10
		お金	利用者 認知	手間	申込方法	受付件数	する (CiNii)	する (JAIR O)	する (各機 関HP)	する(その 他)	しない		
1	秋草学園短期大学図書館											保存・閲覧部分のみを担当	わからない
2	跡見学園女子大学新座図書館								Google			その他(発送・紀要交換、保存・閲覧、電子化・公開を担当)	その他(発行学会・学会・委員会・大学執行部会議)
3	浦和大学図書館・情報センター											編集・発行全般、発送・紀要交換部分、保存・閲覧部分を担当	わからない
4	共栄大学・共栄学園短期大学図書館											電子化・公開を担当	発行学会・学科・委員会
5	国際学院埼玉短期大学附属図書館											編集・発行全般、発送・紀要交換部分、保存・閲覧部分を担当	教授会
6	埼玉医科大学附属図書館								データベース検索、電子ジャーナル			保存・閲覧部分のみを担当	発行学会・学科・委員会
7	埼玉学園大学・川口短期大学情報メディアセンター		依頼件数はそれなりにあるが、一部の教員の利用に偏り、学生認知が低い。						Google等、検索サイトで検索する			編集・発行全般、発送・紀要交換部分、電子化・公開、保存・閲覧部分を担当	発行学会・学科・委員会
8	埼玉県立大学情報センター											保存・閲覧部分のみを担当	発行学会・学科・委員会
9	埼玉工業大学図書館								Google等の検索サイト			編集・発行全般を担当	発行学会・学科・委員会
10	埼玉純真短期大学図書館											発送・紀要交換部分、保存・閲覧部分、電子化・公開を担当	教授会
11	埼玉女子短期大学図書館											編集・発行全般、発送・紀要交換部分、保存・閲覧部分、電子化・公開を担当	教授会、理事会

	図書館名	問11	問12								問13	問14	
			費用削減	作業削減	場所節約	PR	ILL減	論文視認性	その他	よかったことはない			
1	秋草学園短期大学図書館	行っていない										したことはない	必要
2	跡見学園女子大学新座図書館	発行物単位で一括に行っている (発行 8誌中5誌・平成14年11月頃から実施)											
3	浦和大学図書館・情報センター	行っていない										過去にしたことがある	必要
4	共栄大学・共栄学園短期大学図書館	発行物単位で一括に行っている (発行34 誌中34誌・2003年 月頃から実施)											
5	国際学院埼玉短期大学附属図書館	行っていない										過去にしたことがある	必要
6	埼玉医科大学附属図書館	発行物単位で一括に行っている (発行 1誌中 1誌・2001年1月頃から実施)											
7	埼玉学園大学・川口短期大学情報メディアセンター	発行物単位で一括に行っている (発行 3誌中 2誌・2004年4月頃から実施)											
8	埼玉県立大学情報センター	発行物単位で一括に行っている (発行 11誌中9誌・2002年 月頃から実施)											
9	埼玉工業大学図書館	発行物単位で一括に行っている (発行 5誌中 2 誌・2006年 月頃から実施 / 2008年 月頃から実施 )											
10	埼玉純真短期大学図書館	発行物単位で一括に行っている (発行 約1誌中 1誌・ 年 月頃から実施)											
11	埼玉女子短期大学図書館	発行物単位で一括に行っている (発行 約1誌中 1誌・2009年10月頃から実施)											

	図書館名	問15									問16	問17	
		メリット	反対勢力	人手	費用	やり方	著作権	公開方法	図書館の仕事ではない	わからない			その他
1	秋草学園短期大学図書館												図書館内(発行担当が図書館以外の部署のみ)
2	跡見学園女子大学新座図書館											している(リポジットで)、(CiNiiで)	
3	浦和大学図書館・情報センター												紀要発行担当部署の中(発行担当が図書館の場合を含む)
4	共栄大学・共栄学園短期大学図書館											している(CiNiiで)	
5	国際学院埼玉短期大学附属図書館												
6	埼玉医科大学附属図書館											している(HPで)	その他(この問いは意味がわかりません)
7	埼玉学園大学・川口短期大学情報メディアセンター											している(HPで)、(CiNiiで)	
8	埼玉県立大学情報センター											している(HPで)、(CiNiiで)	
9	埼玉工業大学図書館											している(CiNiiで)	
10	埼玉純真短期大学図書館											している(リポジットで)予定、(CiNiiで)	
11	埼玉女子短期大学図書館											している(リポジットで)	

	図書館名	問1	問2	問3	問4							
					費用	開館日	命令	サービス向上	有資格者確保	雇用制度	その他	
12	埼玉大学図書館	はい	職員									
13	芝浦工業大学大宮図書館	はい	業務委託	全面(管理職員在)								
14	十文字学園女子大学図書・情報センター	はい	職員									
15	淑徳大学みずほ台図書館	はい	業務委託	全面(管理職員在)								大学の方針
16	城西大学水田記念図書館	はい	業務委託	全面(管理職員在)								補助金獲得(当時)
17	尚美学園大学メディアセンター	どちらか一方のみ(文献複写)	職員(専任)									
18	女子栄養大学図書館	はい	業務委託	一部のみ(閲覧業務含む相互協力)								
19	駿河台大学メディアセンター	はい	職員									
20	聖学院大学総合図書館	はい	職員									
21	西武文理大学図書館	はい	職員、派遣職員	全面(管理職員在)								
22	大正大学附属図書館埼玉分館	いいえ										
23	大東文化大学60周年記念図書館	はい	業務委託	一部のみ(閲覧業務及び整理業務の一部)								

	図書館名	問5				問6				
		委託・派遣なし	利用指導との関係	利用件数が少ない	その他	申込用紙	オンライン	FAX・電話	メール	その他
12	埼玉大学図書館				職員のみが担当している					
13	芝浦工業大学大宮図書館									
14	十文字学園女子大学図書・情報センター									
15	淑徳大学みずほ台図書館									
16	城西大学水田記念図書館									(電話、メール等の問い合わせからオンライン申し込みへ誘導、または申込用紙から代理入力。基本はオンライン)
17	尚美学園大学メディアセンター									
18	女子栄養大学図書館									FAX(電話では受付しない)
19	駿河台大学メディアセンター				委託範囲は目録データ作成のみ					
20	聖学院大学総合図書館									
21	西武文理大学図書館									
22	大正大学附属図書館埼玉分館									
23	大東文化大学60周年記念図書館									

	図書館名	問7					問8					問9	問10
		お金	利用者 認知	手間	申込方法	受付件数	する (CiNii)	する (JAIR O)	する (各機 関HP)	する(その 他)	しない		
12	埼玉大学図書館								電子ジャーナル、データベース等		電子化・公開を担当	その他(発行物ごとに異なる)	
13	芝浦工業大学大宮図書館								google scholar 契約DB		発送・紀要交換部分、保存・閲覧部分、電子化・公開、その他(研究報告)を担当	発行学会・学科・委員会	
14	十文字学園女子大学図書・情報センター								オンラインジャーナル		保存・閲覧部分のみを担当	教授会	
15	淑徳大学みずほ台図書館										編集・発行全般を担当	発行学会・学科・委員会	
16	城西大学水田記念図書館								Google, GoogleScholar, DB		保存・閲覧部分、電子化・公開を担当	発行学会・学科・委員会	
17	尚美学園大学メディアセンター										発送・紀要交換部分、保存・閲覧部分、電子化・公開を担当	発行学会・学科・委員会	
18	女子栄養大学図書館										保存・閲覧部分のみを担当	発行学会・学科・委員会	
19	駿河台大学メディアセンター								Google, GoogleScholar		発送・紀要交換部分、電子化・公開を担当	発行学会・学科・委員会	
20	聖学院大学総合図書館										編集・発行全般を担当	教授会	
21	西武文理大学図書館										保存・閲覧部分のみを担当	発行学会・学科・委員会	
22	大正大学附属図書館埼玉分館										その他(かかわっていない)	発行学会・学科・委員会	
23	大東文化大学60周年記念図書館										保存・閲覧部分のみを担当	わからない	

	図書館名	問11	問12							問13	問14	
			費用削減	作業削減	場所節約	PR	ILL減	論文視認性	その他			よかったことはない
12	埼玉大学図書館	発行物単位で一括に行っている(発行 約16誌中 10誌・2007年2月頃から実施) NIIの紀要データを初期コンテンツとして本学の機関リポジトリに一括登録した日付										
13	芝浦工業大学大宮図書館	発行物単位で一括に行っている(発行 誌中 誌・2008年頃頃から実施)										
14	十文字学園女子大学図書・情報センター	行っていない									現在検討中(実施時期未定)	必要
15	淑徳大学みずほ台図書館	発行物単位で一括に行っている										
16	城西大学水田記念図書館	発行物単位で一括に行っている(発行19誌中11誌・2002年6月頃から実施)							著作権について少し認知度が深まったかもしれない			
17	尚美学園大学メディアセンター	論文単位で個別に行っている(2005年4月頃から)										
18	女子栄養大学図書館	論文単位で一括に行っている(発行40誌中7誌・2004年8月頃から実施)										
19	駿河台大学メディアセンター	論文単位で個別に行っている(2004年12月頃から実施)										
20	聖学院大学総合図書館	発行物単位で一括に行っている(発行2誌中 1誌・2003年10月頃から実施)										
21	西武文理大学図書館	行っていない									する予定	必要
22	大正大学附属図書館埼玉分館	発行物単位で一括に行っている(発行2誌中2誌・2008年から実施)										
23	大東文化大学60周年記念図書館	行っていない									過去にしたことがある	必要

	図書館名	問15									問16	問17	
		メリット	反対勢力	人手	費用	やり方	著作権	公開方法	図書館の仕事ではない	わからない			その他
12	埼玉大学図書館											している(リポジットリで)、(CiNiiで)	
13	芝浦工業大学大宮図書館											している(CD-ROM等の配布)	
14	十文字学園女子大学図書・情報センター										教員には説明しているがなかなか進まない		
15	淑徳大学みずほ台図書館											している(リポジットリで)	
16	城西大学水田記念図書館											している(リポジットリで)、(HPで)(CiNiiで)	
17	尚美学園大学メディアセンター											している(CiNiiで)	
18	女子栄養大学図書館											している(HPで)(CiNiiで)	
19	駿河台大学メディアセンター											している(リポジットリで)、(HPで)、(CiNiiで)	
20	聖学院大学総合図書館											している(リポジットリで)、(HPで)(CiNiiで)	
21	西武文理大学図書館												図書館内(発行担当が図書館以外の部署のみ)
22	大正大学附属図書館埼玉分館											している(HPで)(CiNiiで)	全学的
23	大東文化大学60周年記念図書館												

	図書館名	問1	問2	問3	問4							
					費用	開館日	命令	サービス向上	有資格者確保	雇用制度	その他	
24	東京国際大学金子泰蔵記念図書館	はい	業務委託	全面(管理職員在)								
25	東京電機大学総合メディアセンター-鳩山サテライトセンター	はい	職員、派遣職員	一部のみ(閲覧、収書、相互協力)								
26	東京理科大学久喜図書館	はい	職員(パート)									
27	東邦音楽大学図書館											
28	東洋大学附属図書館川越図書館	はい	職員									
29	獨協大学図書館	はい	職員、業務委託	一部のみ(閲覧係関連業務、参考係関連業務)								
30	日本工業大学LCセンター	はい	業務委託	一部のみ								
31	人間総合科学大学図書館	はい	職員(パート)									
32	文京学院大学ふじみ野図書館											
33	文教大学越谷図書館	はい	職員									
34	平成国際大学附属図書館	はい	職員(専任)									
35	武蔵丘短期大学図書館	はい	職員									
36	武蔵野音楽大学人間キャンパス図書館											
37	武蔵野学院大学図書館	はい	職員									
38	明海大学歯学部メディアセンター(図書館)	はい	職員(パート)									
39	目白大学岩槻図書館	はい	業務委託	全面(管理職員在)								
40	ものづくり大学図書情報センター											
41	山村学園短期大学図書館	どちらか一方のみ(文献複写)	職員(専任)									

	図書館名	問5				問6				
		委託・派遣なし	利用指導との関係	利用件数が少ない	その他	申込用紙	オンライン	FAX・電話	メール	その他
24	東京国際大学金子泰蔵記念図書館									
25	東京電機大学総合メディアセンター-鳩山サテライトセンター									
26	東京理科大学久喜図書館				業務分担当					
27	東邦音楽大学図書館									
28	東洋大学附属図書館川越図書館				業務管理上、業務分担当					
29	獨協大学図書館									
30	日本工業大学LCセンター									
31	人間総合科学大学図書館									
32	文京学院大学ふじみ野図書館									
33	文教大学越谷図書館				季節的な業務量の増減に対応可。ある程度の習熟が必要であり単純作業ではない					
34	平成国際大学附属図書館									
35	武蔵丘短期大学図書館									
36	武蔵野音楽大学人間キャンパス図書館									
37	武蔵野学院大学図書館									
38	明海大学歯学部メディアセンター(図書館)									
39	目白大学岩槻図書館									
40	ものづくり大学図書情報センター									
41	山村学園短期大学図書館									

	図書館名	問7					問8					問9	問10	
		お金	利用者 認知	手間	申込方法	受付件数	する (CiNii)	する (JAIR O)	する (各機 関HP)	する(その 他)	しない			
24	東京国際大学金子泰蔵記念図書館										契約データ ベース		編集・発行全般を担当	発行学会・学科・ 委員会、教授会
25	東京電機大学総合メディアセンター-鳩山 サテライトセンター										Google		保存・閲覧部分のみを 担当	発行学会・学科・ 委員会
26	東京理科大学久喜図書館												保存・閲覧部分のみを 担当	発行学会・学科・ 委員会
27	東邦音楽大学図書館													
28	東洋大学附属図書館川越図書館												保存・閲覧部分のみを 担当 その他(2007刊行まで 発送も担当)	教授会
29	獨協大学図書館												保存・閲覧部分のみを 担当	発行学会・学科・ 委員会
30	日本工業大学LCセンター												保存・閲覧部分のみを 担当	発行学会・学科・ 委員会
31	人間総合科学大学図書館												保存・閲覧部分のみを 担当	わからない
32	文京学院大学ふじみ野図書館													
33	文教大学越谷図書館										google等検 索エンジン		編集・発行全般、発送・ 紀要交換部分、電子化・ 公開を担当	発行学会・学科・ 委員会
34	平成国際大学附属図書館										Google Scholar検 索		保存・閲覧部分のみを 担当	わからない
35	武蔵丘短期大学図書館												編集・発行全般を担当	発行学会・学科・ 委員会
36	武蔵野音楽大学人間キャンパス図 書館													
37	武蔵野学院大学図書館												発送・紀要交換部分を 担当	わからない
38	明海大学歯学部メディアセンター (図書館)												編集・発行全般を担当	発行学会・学科・ 委員会
39	目白大学岩槻図書館												発送・紀要交換部分を 担当	発行学会・学科・ 委員会
40	ものづくり大学図書情報センター													
41	山村学園短期大学図書館												発送・紀要交換部分を 担当	教授会

	図書館名	問11	問12								問13	問14	
			費用削減	作業削減	場所節約	PR	ILL減	論文視認性	その他	よかったことはない			
24	東京国際大学金子泰蔵記念図書館	行っていない										過去にしたことがある	必要
25	東京電機大学総合メディアセンター-鳩山サテライトセンター	行っていない										する予定	必要
26	東京理科大学久喜図書館	行っていない										したことはない	必要ない
27	東邦音楽大学図書館												
28	東洋大学附属図書館川越図書館	行っていない										したことはない(これから検討に入る)	必要
29	獨協大学図書館	発行物単位で一括に行っている								各発行機関ごとに実施しているため不明			
30	日本工業大学LCセンター	行っていない										したことはない	必要
31	人間総合科学大学図書館	行っていない(本学の学会誌についてはメディカルオンラインにて閲覧できるようになっていますが、紀要は検討中です)										過去にしたことがある	必要
32	文京学院大学ふじみ野図書館												
33	文教大学越谷図書館	発行物単位で一括に行っている											
34	平成国際大学附属図書館	行っていない										過去にしたことがある	必要
35	武蔵丘短期大学図書館	行っていない											必要
36	武蔵野音楽大学人間キャンパス図書館												
37	武蔵野学院大学図書館	行っていない										したことはない	必要
38	明海大学歯学部メディアセンター(図書館)	発行物単位で一括に行っている(発行 1誌中 1誌・2005年4月頃から実施)											
39	目白大学岩槻図書館	発行物単位で一括に行っている(発行 誌中 7誌・2008年 月頃から実施)											
40	ものづくり大学図書情報センター												
41	山村学園短期大学図書館	行っていない										過去にしたことがある	必要

	図書館名	問15									問16	問17
		メリット	反対勢力	人手	費用	やり方	著作権	公開方法	図書館の仕事ではない	わからない		
24	東京国際大学金子泰蔵記念図書館											
25	東京電機大学総合メディアセンター-鳩山サテライトセンター										過去に発行された紀要の著作権処理が出来ない。発行部署の認識がない。	図書館内(発行担当が図書館以外の部署のみ)
26	東京理科大学久喜図書館										紀要の発行に関しては教養教員が行っているため	三地区(神楽坂・野田・久喜)の教養教員が主体となって発行しているため、図書館はタッチしていない。
27	東邦音楽大学図書館											
28	東洋大学附属図書館川越図書館										紀要の発行に関しては各学部の事項であるため	
29	獨協大学図書館											している(HPで)
30	日本工業大学LCセンター											
31	人間総合科学大学図書館											その他(紀要をメディカルオンラインや他(国立)関係にのせる場合、どういふ手続きが必要か調べる様事務局担当者から依頼が過去にありましたが、その後、進展はありません。
32	文京学院大学ふじみ野図書館											
33	文教大学越谷図書館											している(リポトリで)
34	平成国際大学附属図書館										著作権の問題が解決されていない	図書館内(発行担当が図書館以外の部署のみ)
35	武蔵丘短期大学図書館											
36	武蔵野音楽大学人間キャンパス図書館											
37	武蔵野学院大学図書館											
38	明海大学歯学部メディアセンター(図書館)											している(HPで)
39	目白大学岩槻図書館											している(CiNiで)
40	ものづくり大学図書情報センター											
41	山村学園短期大学図書館											

	図書館名	問1	問2	問3	問4							
					費用	開館日	命令	サービス向上	有資格者確保	雇用制度	その他	
42	立教大学新座図書館	はい	業務委託	一部のみ(閲覧業務、図書/雑誌目録・整理)								委託化は政策判断による
43	立正大学情報メディアセンター 熊谷図書館											
44	早稲田大学所沢図書館	はい	業務委託	一部のみ(閲覧業務、相互協力業務)								
45	国立女性教育会館女性教育情報センター	はい	職員									
46	日本医療科学大学図書館	いいえ										

	図書館名	問5				問6				
		委託・派遣なし	利用指導との関係	利用件数が少ない	その他	申込用紙	オンライン	FAX・電話	メール	その他
42	立教大学新座図書館						(今年度中予定) 相互協力について学内の申込方法に関して回答いたしました。			
43	立正大学情報メディアセンター 熊谷図書館									
44	早稲田大学所沢図書館									
45	国立女性教育会館女性教育情報センター									
46	日本医療科学大学図書館									

	図書館名	問7					問8					問9	問10
		お金	利用者 認知	手間	申込方 法	受付件 数	する (CiNii)	する (JAIR O)	する (各機 関HP)	する(その 他)	しない		
42	立教大学新座図書館								Google Scholar		電子化・公開を担当	発行学会・学科・ 委員会	
43	立正大学情報メディアセンター 熊谷 図書館												
44	早稲田大学所沢図書館	(特にありません)								J-STAGE ,Google ほか		発送・紀要交換部分を 担当, 電子化・公開を担 当 (但し、これらは中 央図書館で行っている)	発行学会・学科・ 委員会, 教授会な ど紀要によって異 なる
45	国立女性教育会館女性教育情報セ ンター										保存・閲覧部分、電子 化・公開を担当	発行学会・学科・ 委員会	
46	日本医療科学大学図書館										発送・紀要交換部分を 担当	発行学会・学科・ 委員会	

	図書館名	問11	問12							問13	問14	
			費用削減	作業削減	場所節約	PR	ILL減	論文視認性	その他			よかったことはない
42	立教大学新座図書館	発行物単位で一括に行っている(発行 47誌中 7誌 ・2006年 月頃から実施)*図書館にてCiNii登録している誌数が7誌。上記とは別に、各学部HP上で個別に本文公開している紀要もあり。(図書館が現在把握しているのは6誌)										
43	立正大学情報メディアセンター 熊谷図書館											
44	早稲田大学所沢図書館	発行物単位で一括に行っている(発行雑誌数等は不明)										
45	国立女性教育会館女性教育情報センター	発行物単位で一括に行っている(発行 1誌中 1誌 ・2002年頃から実施)										
46	日本医療科学大学図書館	発行物単位で一括に行っている(2010年9月頃から実施予定という話を聞いている)							まだわからない			

	図書館名	問15									問16	問17	
		メリット	反対勢力	人手	費用	やり方	著作権	公開方法	図書館の仕事ではない	わからない			その他
42	立教大学新座図書館											している(H Pで) (リボジトリ で)	紀要発行担当部署の中(発行担当 が図書館の場合を含む)
43	立正大学情報メディアセンター 熊谷 図書館												
44	早稲田大学所沢図書館											している(リ ボジトリで)	
45	国立女性教育会館女性教育情報セ ンター											している(リ ボジトリで) (HPで)	
46	日本医療科学大学図書館											している(そ の他 J- Dream2)	

## 埼玉県大学短期大学図書館協議会研修会 2010 アンケート

### 調査の主旨について

この調査は、今年度の SALA 研修会（2010 年 11 月頃開催予定）のために実施します。このアンケート回答の集計結果を、研修会当日の資料として公開・配布させていただく予定ですので、ご了承ください。また、アンケート回答を受けて、当日の事例発表をお願いする場合があります。

皆様のご協力をお願いいたします。

機関名	
図書館名	
回答者名	
回答者連絡先（電話）	
回答者連絡先（メール）	

該当項目に をチェック、または記述してください。

記述の部分が不足した場合は、枠等を随時追加してご記入してください。

### 【相互協力・文献複写について】

貴館における相互協力の体制についてうかがいます。

問 1 相互協力（資料貸借・文献複写）を実施していますか？

はい            いいえ            どちらか一方のみ（            ）

問 2 問 1 で「はい」または「どちらか一方のみ」と答えた方のみ回答してください。

相互協力（資料貸借・文献複写）の業務担当についてお聞かせ下さい。

職員（専任・非常勤）    業務委託            派遣職員            その他（            ）

問 3 問 2 で「業務委託」または「派遣職員」と答えた方のみ回答してください。

図書館業務の「業務委託」または「派遣職員」状況をお聞かせ下さい。

全面（職員なし）    全面（管理職員在）            一部のみ（            ）  
相互協力のみ            その他（            ）

問 4 問 2 で「業務委託」または「派遣職員」と答えた方のみ回答してください。

業務委託または派遣職員による実施を選択された理由は何ですか？（複数回答可）

費用（人件費削減）    開館日・時間延長            上からの命令  
サービス向上            有資格者の確保            雇用制度問題  
その他（            ）



その他( ) よかったことはない

問 13 問 11 で電子化を「行っていない」と回答された方にお聞きします。

電子化の検討状況について、以下のどれに該当しますか？

過去にしたことがある      現在検討中(実施予定 年 月)  
する予定      したことはない

問 14 問 11 で電子化を「行っていない」と回答された方にお聞きします。

電子化をする必要性についてどう思いますか？

必要ない      必要

問 15 問 11 で電子化を「行っていない」と回答された方にお聞きします。

電子化を行っていない理由はなんですか？(複数回答可)

メリットがない      反対勢力がある      人手がない  
費用がない      やり方がわからない      著作権が心配  
公開する方法がない      図書館の仕事ではない      わからない  
その他( )

問 16 問 11 で電子化を「行っている」と回答された方にお聞きします。

電子化されたファイルを学外公開していますか？

している(リポジトリで)      している(HPで)  
している(CiNiiで)      している(CD-ROM等の配布)  
している(その他 )      していない

問 17 問 12 で「したことはない」以外を回答された方にお聞きします。

どのレベルでの検討されました(されています)か？

紀要発行担当部署の中(発行担当が図書館の場合を含む)      全学的  
図書館内(発行担当が図書館以外の部署のみ)      その他( )

問 18 紀要の電子化を「行っている」または具体的に「行うこと」が決まっている機関の方にお聞きします。特に意識した点や大変だったこと、やってよかったと思ったことなどのエピソードや、これからの課題などがありましたらお聞かせ下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

提出締切 2010年9月10日(金)